

1月の書籍
ベスト5

山陽堂だより 103

2018年2月如月



山陽堂書店

03-3401-1309

山陽堂書店の絵日展 日・祝休

3/5(月) - 3/4(土) 月・金 11-19時 エ 11-17時

「本屋」から「ギャラリーのある本屋」にならう

今年の6月で7年になります。

この度、ご縁をいただいた「イラストレーター」の方たちによる「山陽堂書店をイメージした作品」を展示いたします。あわせて、山陽堂書店壁画を描いてくれた谷内六郎さんの作品、和田誠氏による山陽堂書店オリジナル書店（ブックカバー）の原画、谷内六郎さんの壁画「傘の穴は一番星」の顔ハXハネルもあつたのしめくたさい。

ギャラリー10のことは、山陽堂書店

・北極のサーカスなのに、冷えて、東京の街外も、ずっとあつた、居心地よく、いつまでも見ていたくなる作品ばかりでした。美しい青... 原画を見られてよかったです!

1. 北極サーカス 講談社 店野村文絵
2. マンガ版 マンガハウス 君たちはどう生きるか 吉野源三郎著
3. はやの白又さん 伊丹十三著 子らぼ
4. ハロのすてきなおじさん 金井真紀著 柏書房
5. 鳩の撃退法 上 佐藤 正午著 小学館

1月の雑誌店ベスト5

1. SPUR 3月号 しあわせのスマイルモト
2. 家庭画報 2月号 極上の「湯宿」を愉しむ
3. VOGUE JAPAN 2月号 ファッション王国にようこそ
4. GINZA 2月号 セルフ・コネクト集
4. フィカロジャポン 3月号 アートと暮らす
4. ELLE JAPON 2月号 春のおしゃれA to Z
5. KUNEI 3月号 50代でめい、おいしい料理には40語が必用
5. 文芸春秋 2月号 小泉進次郎 x 塩野七生
5. 週刊文春 合併号 貴乃花 潔白

「こんなことか!」

二、数日、店の前で記念撮影をしていく人かいたの2、「?」と聞いてたところ、ある雑誌店の方か、店の前で撮影した写真をSNSで発信したことがわかった。おれ、そういう理由でいいので、

2月休業日の
お知らせ

2/3(土)・日祝

今月のことは

私は本を読むときに、その著者が自分ひとりに向かって直接語りかけてくれているように感じながら読むことにしている。岩波新書 斎藤孝著 読書力

山陽堂書店3階

不定期営業

喫茶通信



2月5日西で信
X-11マロビン
より。

みなさん

こんにちは。何度か同じ類のエピソードをお届けしているので恐縮なのですが、昨日あった出来事を。今春から暮らす部屋を探そうと、不動産屋の窓に張り出されている物件を見ていると、すかさず中に居た女性に声をかけられました。いくつか条件を伝えると「中へどうぞ」と案内され、席に就いて最初にされた質問が「お客様は外国の方で...」

入店前のやり取りで日本人であることが伝わっていなかったということでしょうか。外見だけでなく、話す言葉の調子も含めて総合的に「外国人」と判断されたとなると、いよいよ話は変わってきます。謝る彼女に「いや、こちらこそ申し訳ありませんでした」と、僕も謝罪の言葉で返してしまい、よく分からない状況になってしまいました。さて、毎回半月ごとの営業日を案内しておりますが、本日は2月の前・後半を通じた1ヶ月間の営業日をお知らせ致します。

【2月の喫茶営業日】

未定（※書店は通常営業しております。）

随分思いきりの良い案内だなと、我ながら思っていました。ただ、これは前向きな未定なのです。詳しくは、少し長くなってしまいましたので追伸で。今回は1ヶ月分の営業日を案内しましたが、こちら半月に一度配信してきたので、また二週間後くらいに配信してもよろしいですかね?

※配信ご希望の方はこちらまで⇒sanyodo1891@gmail.com>こちらのメールアドレスは送信専用となります。

配信停止希望のメールを除き、返信していただいたメールにお答えすることは出来ませんのでご了承ください。

営業日等のご質問は山陽堂書店(03-3401-1309) 担当 まんのう までお問い合わせください。

追伸

平日も週末も、青山表参道には多くの人が行き交います。

「人が多い」また「アクセスが良い」という条件において、山陽堂書店は恵まれた場所にあるといえます。

「交差点」にあるということも、また恵まれているように思います。

では、人が行き交う場にある本屋の売り上げはどうなのかというと、みなさまご存知の通り、もう何年も前から本はなかなか売れない時代になりました。

家族や書店組合の方々から聞く「お昼休みになると本を買いに来るお客さんでいっぱいだった」というのは、遠い昔のお話です。

「このままではいけない。変えていかないと」

山陽堂書店(の女性5人)は、2011年から書店にギャラリーを併設させ、原画展や写真展、トークショーなどの企画をするようになりました。あれから7年、ありがたいことにお店に来てくださる方、応援して下さる方は着実に増え、人の輪は大きく広がりました。

それでも、ますます本が売れなくなってきた今、さらなる変化が求められています。

「何とかしなきゃ」という焦燥感と、「ここなら色んなことが出来るよね」という前向きな発言や妄想の中を、みんなで行ったり来たりしている日々です。(決して悲観的ではないのです。)大学を出て幾年かを経て、昨秋に「実務経験ゼロ」のまま山陽堂書店に入った僕に求められている仕事のひとつが、妄想を形にしていくことです。

とはいえ、まず何をどうすれば良いのかが全くわからず、この数ヶ月間は悶々として(寒さにも苦しんで)いました。

そしてようやく、最近になり気付いたことが「どうやら待っているだけでは何も始まらない」ということでした。(お時間いただきました)

先日、岐阜に行ってきました。山陽堂オリジナルグッズの現実味が帯びてきました。もうひとつ別の商品も同時進行で進んでいます。いまはこうして歩き回り、人に会い、いろいろなものを見ることで、前に進んだり、次の一手になりそうな何かが見つかっていったりするような気がします。

ということにして、2月(あるいはその先もしばらく)はいつ喫茶営業をするかを先にお伝えすることが出来ません。

急に外に出ることも多そうです。これまでの淹れ方を忘れぬよう、日々3階で珈琲は淹れてまいりますので、お店にお立ち寄りくださったときに珈琲の香りがすることがあるかと思えます。2階のギャラリーが開いていて、そのまま3階への階段が通じていたら、その日は営業日です。こんなご案内では、お叱りをいただいってしまうそうですが、しばらくはこういった調子で営業してまいりますので、よろしく願い致します。

それから、最後にひとつ伝えておくと、どんな一手も(喫茶営業も)新しい何かも、それは山陽堂書店が「青山表参道」でこれからも「本屋」を続けていく為だということです。

ながーい目で、これからの山陽堂書店をお楽しみに。山陽堂書店 まんのう